

討論

第3回定例会で審議された議案に対する議員の討論の概要をお伝えいたします。議案には市長が提出するものと、議員が提出するものがあります。

市長提出議案

令和6年度一般会計補正予算(第5号) …可決

〔内容〕災害用トイレトラックの購入

石井議員…賛成

災害用トイレトラックは、ライフラインの断絶時にも清潔に安全安心に、そして迅速に対応でき、被災者の健康維持のため非常に有効。停電時でも太陽光発電により夜間も明るく、女性や子ども、高齢者も安心して利用できる。

岡口議員…賛成

トイレトラックは迅速かつ効率的に水洗トイレを提供でき、断水や停電などインフラが断絶された場合でも活用可能。また、平時には野外イベントでの活用も予定されている点、災害派遣トイレネットワークに加入し、他加入自治体と相互に支援し合える点が大きな魅力である。

染谷議員…賛成

避難時にトイレが整っていない、汚いと感じると、行かなくていように水分を控える人が出てくる。水分が不足すると、体調を崩し、命を落とすこともある。災害時でもトイレに行きやすい環境を整えることが住民の命を守ることにつながる。災害用トイレトラックを有する自治体で構成される災害派遣トイレネットワークに加入することで、市が被災した際の支援の受け入れ・被災地への支援体制が確立され、1台所有すれば何台も持っているのと同じ効果がある。

入江議員…賛成

災害用トイレトラックは、一度購入すれば長期的に利用可能な点と、避難所の衛生環境の確保、被災者の安心につながる点から、将来の安全と安心を確保する重要なもの。また、災害派遣トイレネットワークへの加入は、広域的な災害対策の一環として重要な意義を有する。平時にはイベント等でも使用でき、災害に対する啓発につながることも期待される。

小堤議員…賛成

インフラが断絶されても迅速かつ効果的に水洗トイレを提供できるトイレトラックの購入は、被災者の健康を守るため極めて重要。トイレトラックには多機能トイレも整備され、夜間でも照明を補える。市での活用はもとより、全国各地とつながるネットワークを通じ被災地の方々へのトイレ事情が衛生的で健康を守ることに寄与することは意義深く重要である。

令和6年度一般会計補正予算(第6号) …可決

〔内容〕小・中学校体育館空調設置工事の実施設計、母子健康手帳アプリに要する経費、藤代小学校放課後子どもクラブ室改修工事の実施設計、浸水検知システムの構築等

長塚議員…賛成

母子健康手帳アプリの導入で、保護者はいつでもスマホで乳児検診や子育ての記録の管理、相談等が可能になる。また、デジタル化による職員の事務効率向上が図られ、空いた時間をさらに伴走型支援などに充てることが可能。小・中学校体育館の空調整備は、体を動かせる環境が整うことで、子どもたちの健康や体づくり、運動習慣や心身の健康維持につながる。また、指定避難所の観点からは、危険な暑さから市民の命を守ることにもつながる。

遠山議員…賛成

藤代小学校放課後子どもクラブ室に長年設置されていなかった室内トイレが設置されることになるなど、生活環境が改善される。また、児童・生徒の熱中症対策、指定避難所の居住環境整備のための小・中学校体育館空調設備設置工事の実施設計業務委託料が計上されている。教育相談に要する経費の増額は、学校と家庭をつなぐ福祉的視点でスクールソーシャルワーカーの役割が発揮されていると理解した。



令和2年12月に総務文教常任委員会が藤代小放課後子どもクラブ室を視察した様子

入江議員…賛成

小・中学校の体育館と中学校の武道場への空調設置は、子どもたちの健康面、災害時の安心が両立される事業である。母子健康手帳アプリの導入は、忙しい子育て世帯の時短につながるだけでなく、保健センターでの業務効率化が図られる点で、地方行政のDX推進という面でも有効な事業である。

岡口議員…賛成

小・中学校の体育館は児童・生徒以外にも社会体育や避難所として市民も利用する施設であり、近年の熱中症アラートが頻繁に発令される状況では空調設備は必要。また、母子健康手帳アプリの導入について、母子保健情報の電子化はサービスの利便性の向上と業務の効率化につながるなど、たくさんのメリットがある。

小堤議員…賛成

双葉地区に設置したものと同種の浸水センサーをアンダーパスなど市内11カ所に設置する浸水検知システムは、現場に行かずとも素早かつ確かな災害対応が可能となり、地域住民の安全を迅速に確保するため必要。下高井水砂地区の雨水排水の測量・地質調査は、家屋への浸水や広範囲にわたる道路の冠水などが発生する地域の雨水排水対策を進めるための調査であり、地域住民が望んでいたものである。

久保田議員…賛成

母子健康手帳アプリの導入は、小さなお子さんを持つ保護者の皆さんが便利になるものであり、一日も早く導入しアプリを周知し、一人でも多くの市民の皆さんが便利さを実感できるよう進めていただきたい。

定例会の開会日の変更

令和6年第3回定例会は、当初9月2日の開会を予定していましたが、台風10号の接近に伴い市内で災害が発生する恐れがあるとして開会日が変更され、会期日程が9月3日から9月24日までとなりました。

決算認定

令和5年度一般会計決算の認定…認定

〔内容〕魅力ある都市空間づくり、定住化の促進、少子高齢社会への対応、将来を見据えた持続可能な教育、地球温暖化対策、エネルギー・食料品価格の高騰への対策、令和5年6月2日に発生した集中豪雨への対応等

遠山議員…反対

子どもの医療費窓口無償化をするべき点、公立保育所を4カ所にした点、10年もの間交通空白地域の問題が解決されていない点、家賃補助制度の創設を再検討するべき点、市民要望に応える道路維持管理費は当初予算で明確に計上すべき点、空き家問題の解決にさらに取り組むべき点、農業問題は食料安全保障として、より積極的に取り組むべき課題である点、学校給食費の無償化は子育て支援事業として公平な施策として取り組むべき点について問題提起する。

古谷議員…賛成

女性や乳幼児用の避難用品の備蓄、ハザードマップなどの周知、防災士資格取得への補助金交付など、安心安全なまちづくりに力を入れていた。教育面でもスクールカウンセラー・スーパーバイザーやスクールソーシャルワーカーなどによるきめ細やかな支援を児童・保護者に行うなど、多くの事業を推進できたことを評価する。

長塚議員…賛成

市内小・中学生への環境教育プログラムは、探求型環境教育として児童・生徒がICTを活用しながら、分析力・発信力などを向上させる有意義な事業。省エネ家電買換え補助事業は市民生活の負担軽減、各家庭の二酸化炭素排出量の削減に寄与するなど効果の大きい事業。とりでっ子応援給付金給付事業や給食費の負担軽減事業では、子育て世代の現状を踏まえた事業が行われ、子どもたちの笑顔や健全な成長に大きくつながった。市民の暮らしを向上させるため、効率的・効果的に事業を展開したことを高く評価する。

岡口議員…賛成

令和5年6月の集中豪雨に対しては、応急処理や避難所運営、被災者の生活再建に向けた支援など対応し、その後の水害対策の検討・実施を行った。少子高齢化社会への対応では、さらなる子育て環境の充実を図った。取手駅のバリアフリー化設備に補助し、高齢者・障がい者等の移動円滑化を促進した。将来を見据えた持続可能な教育については、休日の部活動の地域移行の検討などを進め、生徒が専門的な指導を受ける機会を確保しつつ教職員の働き方改革を進めた。

根岸議員…賛成

児童・生徒の抱える課題に各分野の専門家と学校が連携して取り組む教育相談部会を高く評価。環境教育プログラムの取り組みは、情報通信技術と実体験を伴った学習を組み合わせることで、子どもたちの力を伸ばすことにつながる。家庭ごみ排出量実態調査の取り組みは、広く市民参加を募り、実態調査とともにごみ減量意識の醸成にも寄与した。総合計画策定過程では、未来を担う高校生・市民・職員がともにワークショップに取り組んだ内容を計画に反映したことは非常に有意義と考える。

令和5年度競輪事業特別会計決算の認定…認定

染谷議員…賛成

競輪事業の収益は地方財政や社会福祉に役立てることができる。施設の老朽化等の課題があるが、今後は若者や女性、子どもなどが一緒に楽しめるような施設への改修が期待されている。懸念されるギャンブル依存症対策も着実に実施している。競輪事業はスポーツの発展、社会貢献の意義、そして税収の面から市に必要なものである。

加増議員…反対

売り上げが開催日程によって大きな影響を受ける競輪事業は水ものの事業。競輪事業は公営ギャンブルであり、依存症への影響も拭えない。市は競輪事業から脱却し、市の中心市街地に位置する競輪場を市民誰もが利用できる文化芸術・スポーツ・福祉などの施設へ利用転換し、市民一人一人が誇りを持てるまちへと進んでいくことが必要である。

議員提出議案

救急搬送時の選定療養費徴収の撤回を求める意見書…否決 (提出議員…本田 和成 ほか1人)

〔内容〕茨城県による救急搬送時の選定療養費の徴収を撤回し、医療体制の拡充、医療機関や医療従事者への支援、消防救急体制の拡充・支援を求めるもの

本田議員…賛成

選定療養費の徴収を懸念せず緊急と感じたときにちゅうちょなく救急車を呼べることは生命を守る上で当然。また、医療逼迫の懸念に対しては診療所・医療機関の拡充、医療従事者の確保が必要であり、選定療養費徴収が救急出動数を減少させるものではなく、市民の命と健康が守れなくなることにつながる。

根岸議員…賛成

救急搬送時の選定療養費の徴収は県で準備が進んでいるが、厚生労働省のホームページでは、救急患者に対し医療機関は特別な料金を求めてはならないとされており、どのようにクリアするかが示されていない。また、選定療養費を徴収することで救急搬送の適正化が進むかが不透明な中、県民への周知・説明の時間も限られており、準備不足が否めない。

議会組織の変更

○会派「日本共産党」の構成変更

令和6年9月2日に、会派「日本共産党」代表の加増議員から会派異動届が提出され、同会派に所属していた佐野議員は、会派に所属しない議員となりました。

○一般会計予算・決算審査特別委員の辞任・選任

9月2日に、佐野議員が一般会計予算・決算審査特別委員を辞任し、9月3日、議長は岡口議員を新たに委員に選任しました。

◆各議員の一般質問については、市の議会報ホームページをご覧ください。

市議会だより「ひびき」

検索



取手市議会だより「ひびき」第253号 (令和6年11月1日発行) 一般質問ページへの二次元コード